

活性化と団結図り大成果

『'82プラスチックフェア岐阜』を開催

会期3日間で約1万6千人が入場

工組あげて開催準備を進めてきた『'82プラスチックフェア岐阜』は、9月24日、岐阜市六条南の岐阜産業会館で華やかに開幕した。プラスチック協会時代の昭和42年まで開催していた岐阜県プラスチック産業展を、15年ぶりに復活開催した業界待望の産業見本市である。そのテーマとスローガンは『21世紀への飛翔—企業の活性化を図り、団結してプラスチック産業を振興させよう!』で、会期3日間、天候にもまざまず恵まれ、約1万6千人の参観者を動員することができた。しかも、開催を機会に岐阜県プラスチック成形業界の底力を県内外に誇示、フェアの成果は大きかった。

理事長が歓迎挨拶 来賓がテープ切る

『'82プラスチックフェア岐阜』は、開幕の24日午前10時から同会館西玄関前の開会式で始った。まず、武藤昭三実行委員長の開会あいさつ。続いて大松幸栄理事長が『プラスチックの応用範囲は無限に広がっている。見本市を機会に業界をより活性化させ、市場の開拓、技術の開発に一層の力を入れていきたい』と、参会した県内外の関係者に歓迎のあいさつを述べた。

このあと新井名古屋通産局長、広瀬県商工労働部長、蒔田岐阜市長らも相次いで祝辞を述べ、最後にそろって紅白のテープにはさみを入れ、開幕した。



上は話題のテーマ塔。下は来賓が組合役員らに迎えられた



上松知事も会場を訪ずれ、業界の実情を視察



岐阜放送が組合員の共同出品コーナーを取材し放映

話題さらった大テーマ塔

フェアの初日は、東海沖の台風余波から曇り空となり心配されたが、15年ぶりの開催とあってマスコミの話題となり、出足は予想を上廻った。とくに会場入口の大型アーチ、また、展示会場の中央に設けた高さ6メートルのテーマディスプレイは、フェアを大きく盛り上げた。

会場はテーマディスプレイを取り巻くように射出成形機メーカー商社10社、周辺機器12社、原材料関係16社、その他6社が出品。さらに組合員企業10社のほか工組コーナーとして組合員が自社生産している製品を合同出品し、地元成形加工業界の規模と技術水準を見てもらった。また、コーナーを利用して技術相談、デザイン相談、電気使用合理化相談も行われた。



岐阜産業会館の大展示場は参加55社の小間で埋まった



新機種並ぶ射出成形機

代表メーカーが技術競う

プラスチックフェア岐阜の展示会場は①県内成形加工メーカーの紹介と製品の展示②最新型成形機の展示と成形実演③省資源、省エネはじめ周辺機器の展示と実演④プラスチック材料や副資材などの紹介に分かれ、とくに会期中日の25日には特別講演会も行われた。

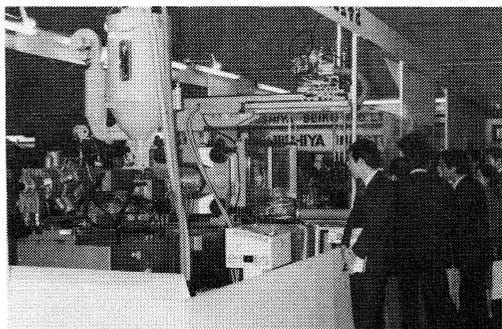
会場の人気をさらったのはやはり大きなスペースを占め、成形実演のデモを行った成形機械メーカー。菱屋精工、新潟鉄工、日精樹脂、東洋機械金属、山城精機、名機、川口鉄工、ハヤブサ鉄工、東芝機械、日本製鋼などとわが国を代表する成形機メーカーが技術の粋を競った。各社とも話題の新機種ばかりで、省電力・省エネルギー、高精度・高性能、自動化さらには多品種少量生産への対応を図ったものなど特色が

めだった。

こうした大型機器と並んで周辺機器の展示も参観者の注目をあびた。マテックスと朋来鉄工の粉碎機、スター精機の自動取出機、松井製作所の金型温度調節機、また異色機器としては川崎重工のロボット、松下電器産業のレーザー加工機などが関心を呼んだ。

原料各社の小間がずらり並ぶ

成形機10社の出品と並んで話題となったのは原材料関係商社メーカーの出品。原材料商社メーカーは、近年の過剰生産や原料ナフサの高騰などから各種見本市への出品に消極的であったのに、このフェア岐阜へは宇部興産、協和ガス、信越化学、ポリプラスチック、昭和電気、日本合成ゴム、住友化学、長瀬産業、電気化学工業、三菱レイヨンなど三菱四社とそうそうたる樹脂メーカーが小間を揃え、しかも、東洋インキ、日本石油なども副資材を展示した。



成形機メーカー10社が最新鋭機を展示実演



県内加工業者の関心が高かった周辺機器の展示

定期的な開催を望む声が出る

会期3日間にわたったフェアは、ジャパンプラス・東京（11月17日から6日間）の直前に開催されたことから、出品商社・メーカーはその前哨戦としていた。このためかフェア岐阜へ出品した商社・メーカーの担当者は大へんな熱の入れよう。各所に設けられた商談コーナーでは活発な取り引き風景を展開した。

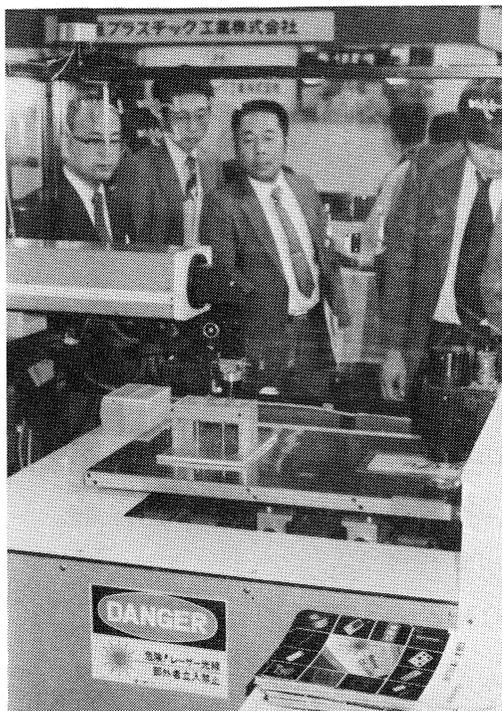
とくに射出成形機を実演展示したT社は小型成形機3台、K社では展示した中型成形機の商談が成立、地元企業へ納品したのをはじめ、この他周辺機器などでもかなりの成果が事務局へ報告された。一方、成形品を出品展示した工業組合関係の地元成形加工メーカーでも引合いがあった。会期を通じて『岐阜県業界のイメージ向上と市場優位性を確保するためにも、ぜひ定期的な開催を…』と望む声が多かった。



商談も活発に行われた特設の大食堂



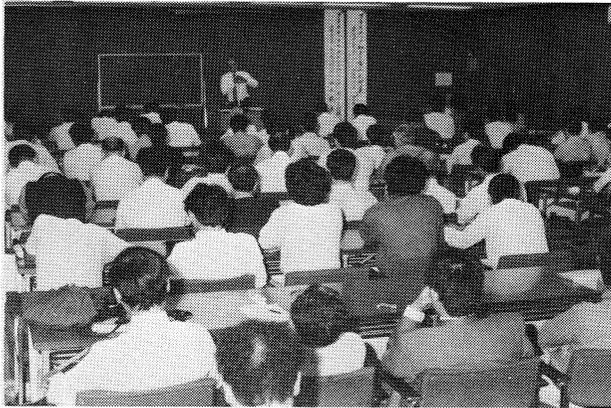
中国のプラスチック研修生も会場を訪問



レーザー光線を使いプラスチック板を加工する



時代の花形、オフィスコンピューターも登場



牧廣氏招き特別講演会

会場は聴講者でぎっしり

工業組合はプラスチックフェア会期中の9月25日午後、同産業会館5階第1会議室で特別講演会(写真)を開いた。講師は活路開拓調査事業の専門委員として活躍された工業技術院製品科学研究所の牧廣基礎性能部長で、テーマは『プラスチックのエンジニアリング用途における問題点』。エンプラは近年本格的に利用され、樹脂は高価であるが付加価値も高い。しかし、成形加工は超高精密な金型と高度な成形加工技術を必要とする。牧講師はこうした問題点を種々アドバイスされ、講演会場は120人を越え

る聴講者に感銘を与えた。

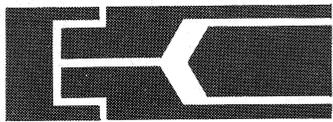
このあと中部電力提供の『プラスチック加工の省エネ対策』(講師=雲英恒雄愛知県工業技術センター材料部主任研究員)について特別講演もあり、見本市の付帯行事にふさわしい熱のこもった講演会となった。

団体活動22年で表彰

工業組合は昭和35年に協会、43年に工業組合を設立、今年は団体活動22周年になることから記念表彰した。被表彰企業は岐阜プラスチック工業、東海ポリエチ工業所、田中化学工業所、武藤合成、東和化成、天龍工業、厚見プラスチック工業、関化成の8社。



団体活動22周年で8社が記念表彰を受ける



三菱射出成形機 MFシリーズ

350MF・450MF・550MF・650MF・850MF

三菱重工業株式会社

本社産業機械第一部 東京都千代田区丸の内2-5-1 ☎東京(03)212-3111

名古屋営業所 産業機械一課 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル9階) ☎(052)562-2176



◎スチロポールの取扱い見直す◎

三重県四日市市でさる8月に起きた生川倉庫爆発炎上事故の原因物質『スチロポール』（発泡スチロール原料）の取扱いで消防庁は取扱い基準の見直しに入った。スチロポールは、消防法上、危険物、準危険物にも指定されておらず綿花類、木毛、カンナくずなどと同様に規制の緩い『特殊可燃物』の扱いを受けていた。

しかし、事故後の鑑定で5度前後の低温でも高圧可燃ガスを放出していることが明らかにされた。このため消防庁では合成樹脂類倉庫保安対策検討委員会を設けて見直し作業を始めたもので、遅くとも来年3月までに結論を出す。

◎エチレンが不況カルテル入り◎

石油化学業界12社は、10月16日からエチレンの不況カルテルに入った。カルテルは来年3月末まで実施するが、エチレンの生産数量制限カルテルは10年ぶりである。

カルテルの内容は5カ月半のエチレン生産量を約155万5千トン、その稼働率を55.6%にするというもの。半年間に換算すると170万トン弱、前年同期に比べると約3.6%、今年上期に比べると5%程度の減産となる。

業界ではカルテルにより基礎製品のエチレン

を強制的に減産すれば、製品全体に供給量が減り、需給好転につながる。これを利用して製品の値上げを実現したいとしている。

◎ポリエチレン古缶の更新運動◎

ポリエチレン製灯油缶業界は、安全対策として一般家庭で使われている古い缶を新しい缶に更新する運動を展開する。その第一歩として必要なデータを揃えることから始めるが、とりあえず過去5年間ぐらいの古い製品を集めて、日本プラスチック検査協会など公的關係で落下などのテストを行い、耐久年数の目安となる数字を割り出す。これと並行してポスターを使って『大丈夫ですか、お宅の灯油かん』を標語に全国的なキャンペーンを行う。

ポリエチレン製の灯油缶がつけられるようになってことしは20年、年間消費量は570万缶。

◎上期の材料、製品生産横ばい◎

日本プラスチック工業連盟は今年上期（1～6月）の材料及び製品生産実績をまとめた。それによると材料生産は348万9千トンで前年同期比2%減と横ばい。期待がもたれていたエンプラ関係樹脂は急増しなかったものの横ばい。製品生産も191万5千トンで、前年同期比2.7%増、前期比1.9%減の横ばいだった。

出光

の石油化学製品

◎取扱品目 中低圧ポリエチレン
ポリスチレン ポリプロピレン
高圧ポリエチレン カルプ®
ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

四度目の企業イメージブーム

CI（コーポレート・アイデンティティ）とは、「良い経営結果をもたらすための経営理念と経営行動の、自己認識回路を創りあげていくこと」、つまり「企業の顔づくり」である。

商品やサービスでライバル企業に差がつけにくくなった企業が、企業イメージでその個性化を競い始めている。

しかし、企業イメージ戦略がこのように注目されだしたのはいまに始まったことではなく、昭和30年代以後すでに四度目のブームである。

企業のマーク、ロゴ・タイプ、社名など企業イメージを好ましい状態で統一しようとするもので、具体的には次のようなことをしようというのである。

- ① 企業理念、経営理念の確認と明確化
- ② それに基づく企業情報媒体の見直し（刷新、修正、現状維持の選択）とイメージ統一
- ③ 情報媒体のマニュアル化による長期的な管理、運営などを、システムとして遂行

し、企業の「あるべき姿」に企業イメージを統一する。

1982年1月から7月までの間に新聞の記事になったものをあげると、

1/12 富士金属工作、10月から社名を現在の略称「フジキン」に変更。

2/22 JBC、オフコン拡販へ近くCI活動

2/25 ミノルタ、大阪にも事務機専用ショールーム3月開設、CI統一カラーに。

2/27 ポッカレモン、3月からポッカコーポレーションに社名変更-CI導入。

3/24 日本ビジネスコンピューター、ブランド名を「JBCC」に変更。

5/25 福岡相銀、CIシステム導入、シンボルマークも新しく。

6/5 キタブツ、CI導入、ブランドを「ケイビー」に転換。

7/8 ヤマトインターナショナル、上場機にCI導入、紺を企業カラーに。

となるが、1981年6月ごろからすでにブームとなり、現在までに数多くの企業がCIを導入し、企業イメージの新時代をつくっているようである。イメージは企業のたいせつな資産とされる。

（岐阜県工業技術センター・工業デザイン室）

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバドール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)

無借金で不況に強い体質作る

八幡化成株式会社



高垣新二さん 会報発刊50号の工場訪問は、郡上郡八幡町稲成の八幡化成（資本金1,200万円、高垣新二社長）を訪ねた。工場は156号線を北上、八幡の街並へ入る手前の木工団

地の一隅にある。この木工団地は、国の高度化資金を受けて昭和43年7月に建設された工場アパートで、同社は玩具の部品メーカーとして郡上八幡玩具協組に加入し、入居したもの。

工場は約200平方メートルの成形工場と、原料倉庫、製品倉庫など3棟400平方メートルの倉庫からなる。成形工場には20オンス射出成形機3台（写真右）が並ぶ。うち1台はさる9月に更新した川口の最新型インジェクションである。

工場アパート入居を機に一変

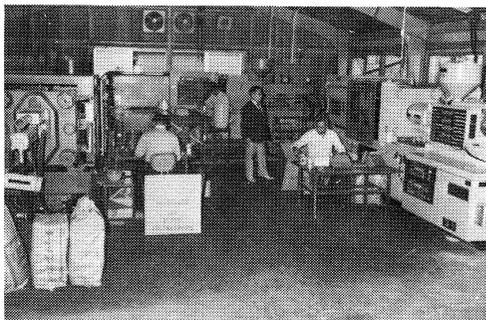
高垣さんは工場アパートへ入るまで、鶉沼（各務原市）に工場をつくり、雑貨品の工賃加工をしていた。郡上人ということで工場アパート入居の話があり、工場をUターンさせたわけだが、これを機会に経営は一変した。まず、株式組織とし、仕事も木工玩具の部品を生産する一方では自社製品の開発に努力し、下請からの脱皮を心がけた。

現在は全製品が自社製品となり、主に家庭用雑貨品（約40種類）に絞って売れ筋や商品の

開発に注いでいる。販売ルートも東京、名古屋大阪の卸問屋50社と取引している。よく業界で『郡上まで入り込むと製品輸送に手間どる』といわれるが、高垣さんは『郡上街道には3社の定期トラック便が通い、東京でも翌日納品できる』と強調している。

後継者も育ち安定成長期入り

高垣さんがプラスチックと取り組んだのは昭和40年、それまでの貿易商社勤めから一転する業界入りで、創業17年を振りかえって『この業界は新しいだけに他と比べ浮沈が激しい。とくにオイルショックの時などは、毎日、トラックに乗って原料を買いにかけ廻ったが、販売



面も原材料の仕入れ面も変化が多く、貴重な体験ばかりの17年間であった」と話す。

幸わい無利子、無担保という願ってもない有利な工場アパートに入ってから『無借金経営を目標に経営の合理化をはかり、不況に強い体質づくりに専念している』という。

すでに後継者として息子の豊彦氏（35歳）が専務として会社の実務を切り廻わしており、八幡化成は専属下請5工場を含めて文字通り安定成長期にあるといえる。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□無事に閉幕ありがとうございました□

15年ぶりに復活開催したプラ展『82プラスチックフェア岐阜』は、県内外関係者のご指導ご支援をいただき、成功裡に閉幕いたしました。会期3日間の入場者総数は実に1万6千人を越え、名古屋をはじめ東京、新潟、関西からの商談、引き合いがあったと報告を受け、実行委員会ではホッとしたところです。フェアの企画から閉幕の搬出にいたるまで、関係の皆さんには種々ご協力いただきありがとうございました。

□ジャパンプラスの見学会にどうぞ□

工組では11月17日から6日間、東京・晴海の国際見本市会場で開かれる『ジャパンプラ

ス'82・東京』の見学バスを計画しています。ご案内を送りましたが18、19日の2日間を予定しております。参加ご希望は早急にお電話で申し込んで下さい。

□会報を発刊して50号になります□

この組合会報も昭和51年5月に、工組創立8周年を記念して創刊し、今号で第50号を重ねました。これを機に皆さんのご意見を…。

岐阜県のプラスチック 1982 50号

昭和57年11月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号

(岐阜産業会館4階)

電話 (0582) 72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

TOSHIBA

東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341



秋元産業株式会社

本社 東京都中央区八重洲5の7

名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)

TEL <052> 582-5071

三菱油化株式会社

取締役社長 吉田正樹

本社 〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル)
TEL (03) 283-5689(代)
名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビル5階)
TEL (052) 563-5641(代)

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友®TPE

合成ゴムSBR

住友®SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル
塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式會社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号(新名古屋ビル東館5階)
電話(052)581-1581(代)



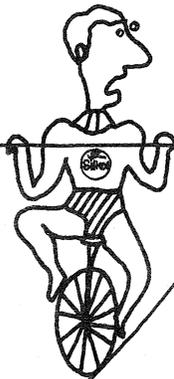
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

では、**離れ技**。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業効率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を侵しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511(代)

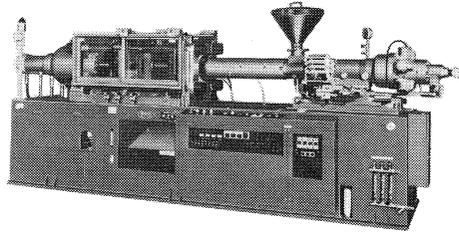


●80年代テーマ

時代を「射る」

高速精密汎用射出成形機 SEシリーズ

「高附加価値成形」と「省エネルギー」の両機能を兼ね備えた80年代の射出成形機です。省電力対応型の電子コントローラによって、射出・型締および油圧など各機構をデジタル制御。とりわけ油圧機構には新機軸の油圧回路SSEシステムにより、油圧の動力損失を最小限に抑えて、消費電力を大幅に減少させました。省電力効果は40～70%（製品により異なる）と極限を追求したものです。



NISSEI 1歩進んだ射出成形機をおとどける
日精樹脂工業株式会社

本社・工場・長野 坂城町 電話 (02688) 2-3000 (大代表)
営業所・東京 ☎03-357-7541 (代表) 大阪 ☎(06) 693-7881 (代表)
名古屋 ☎052-732-0261 (代表) 長野 ☎02688-2-3000 (代表)
出張所・全国27ヶ所・海外サービスステーション24ヶ所 (21ヶ国)
岐阜出張所 岐阜市茜部4962-1 (茜ビル) ☎(0582) 72-5952



伊藤忠商事株式会社

名古屋支社 エネルギー化学品部合成樹脂課

名古屋市中区錦一丁目5番11号
〒460-91 名古屋中郵便局私書箱10号
電話 (052) 203-2481~2488

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

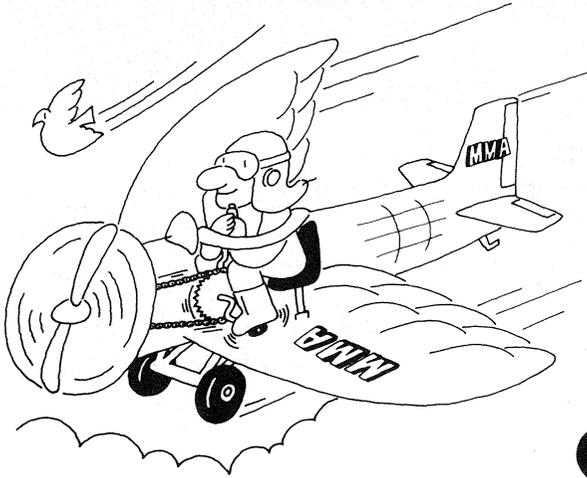
JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

ゆたかな生活環境をクリエイト

発見と発明

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 于103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 仙台営業所 ☎(0222)66-1525



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS



三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

リス
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮